



フィルム汚れ防止壁紙

EVAL BARRIER CLOTH

汚れが拭き取りやすく、キズにも強い



POINT 1

汚れが付きにくく、抗菌性と耐薬品性にも優れる

油汚れが気になる
キッチンにおすすめ

汚れが拭き取りやすく
お手入れ簡単！



中性洗剤の
使用もOK!
清潔な空間を
キープできます



フィルム汚れ防止壁紙 一般ビニル壁紙

※壁紙表面にクレヨンで汚れを付着させ、エタノールで拭き取りを行った。

POINT 2

においをバリアする防臭効果 お手洗いでなく、ダイニングやキッチンにも！

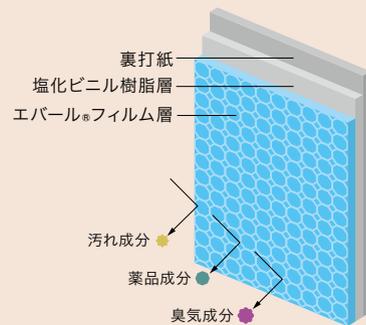
換気をするだけで、食事など
のにおいが部屋にこもる
のを防ぐことができます。



POINT 3

表面の エバル®フィルムが、 キズや剥がれを防止！

※「EVAL®」および「エバル®」は株式会社
クラレのエチレン-ビニルアルコール共重
合樹脂の登録商標です。



▶「フィルム汚れ防止壁紙」の施工上の注意

モルタル・ベニヤ下地に施工する場合は、フクレやアクを防ぐため、シーラー処理をしてください。
オープンタイムは長めに取ってください。オープンタイム不足はフクレ等の原因になることがあります。
糊付け後は折りジワがつかないように大きいたたみ、上積みは避けてください。
エアや水分が抜けにくく、特に低温時にはフクレが生じやすいためご注意ください。
出隅の納めの際は折り曲げた壁紙の表面からきれいな布でしっかりとのおさえてください。
施工後は表面に付着した糊や汚れをきれいに拭き取ってください。
拭き残しがあると変色の原因になることがあります。
一般ビニル壁紙と比較して施工難易度が高いため、施工費が割増しになる場合があります。

各種機能性データ

■ 耐汚染性試験結果

各種汚染物質に対する24時間後の汚れ防止性能を評価しています。

汚染物質	フィルム汚れ防止壁紙			一般ビニル壁紙		
	水	中性洗剤	アルコール	水	中性洗剤	アルコール
コーヒー	◎	◎	◎	△	△	△
醤油	◎	◎	◎	×	△	△
ソース	◎	◎	◎	××	×	×
オレンジジュース	◎	◎	◎	○	◎	◎
水性ペン	○	◎	◎	×	×	×
クレヨン	△	◎	◎	××	××	××
油性ペン	××	×	◎	××	××	××
口紅	△	◎	◎	××	×	××

【試験方法】
壁紙工業会規定 汚れ防止壁紙性能試験に準じ、汚染物質については当社基準による。
【評価基準】
JIS L 0805に定める汚染用グレースケールを用い、汚染度合いを評価する。
◎：5級 汚れが残らない ○：4級 ほとんど汚れが残らない
△：3級 やや汚れが残る ×：2級 かなり汚れが残る ××：1級 汚れが濃く残る

■ 抗菌性能比較表

規定値である[<0.63]の性能を有しています。

	菌A		菌B		菌C	
	接種直後	24時間後	接種直後	24時間後	接種直後	24時間後
フィルム汚れ防止壁紙	1.2×10 ⁴	<0.63	1.1×10 ⁴	<0.63	1.2×10 ⁴	<0.63
ポリエチレンフィルム	1.2×10 ⁴	1.5×10 ⁵	1.1×10 ⁴	3.6×10 ⁴	1.2×10 ⁴	7.6×10 ⁴

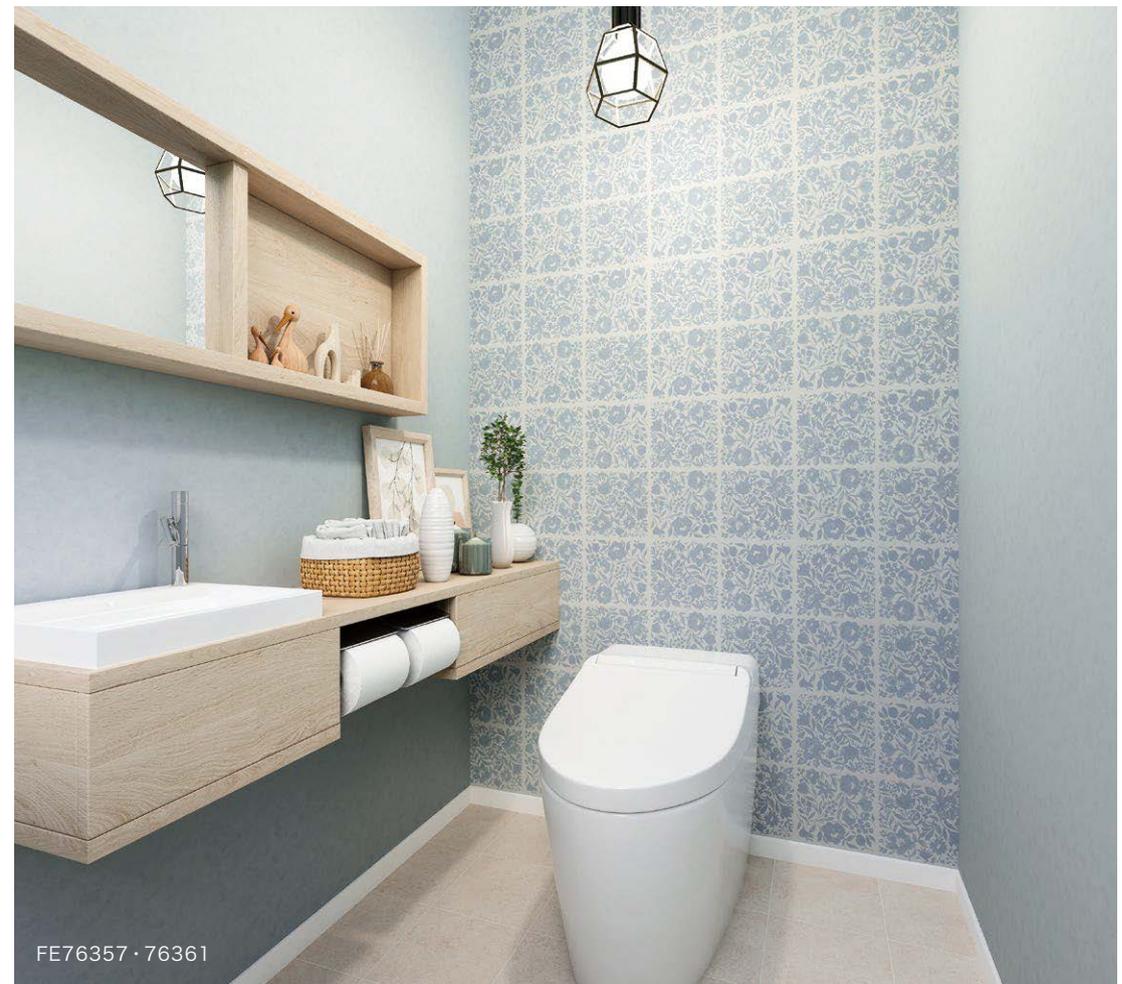
【試験方法】壁紙工業会規定 抗菌性能試験に準ずる。
※上記の試験結果は測定値であり、保証値ではありません。

■ 耐薬品性試験結果

各種薬品に対する24時間後の耐薬品性能を評価しています。

薬品名	フィルム汚れ防止壁紙	一般ビニル壁紙
次亜塩素酸ナトリウム(6%)	◎	○
無水エタノール(99.5vol%)	◎	◎
アンモニア水(25%)	◎	◎
過酸化水素水(3.5w/v%)	◎	◎
ポピドンヨード(7%)	△	×
塩酸(9.5%)	○	△
ベンザルコニウム水溶液(10%)	○	△
ホルマリン液(37%)	◎	◎
クレゾール石鹼液(3%)	◎	◎
シンナー(原液)	◎	○
ルゴール液(原液)	○	×
アクリノール(原液)	○	×
MEK(原液)	◎	△

【試験方法】
JIS K 6902Bに準じ、汚染物質については当社基準による。
【評価基準】
色相変化および状態変化により総合評価を行う。
色相変化：JIS L 0805に定める汚染用グレースケールを用い、汚染度合いを評価する。
状態変化：目視により外観の状態変化を評価する。
◎…変化なし ○…軽微な変化 △…変化あり ×…明らかな変化
※色や柄によって試験結果は異なります。



FE76357・76361